

全国の自治体トップ・職員・議員に贈る自治体の“経営力”を上げる情報誌

# 自治体通信

JICHITAI TSUSHIN

AUGUST 2019

シ

VOL.19

保育園の園外保育など  
特徴を活かした  
さまざまな使い方が可能

ケーススタディ

荒川区社会福祉協議会

手軽で高機能な音響機器で  
より円滑な地域コミュニケーションを

支援企業の視点

Okayo Japan 代表取締役 森田 記祥氏



ポータブル  
サウンドシステム  
の整備

TREND TOPICS

荒川区  
社会福祉協議会  
の取り組み

# 手軽で高機能な音響機器で より円滑な地域コミュニケーションを

大きくて重い音響機器では  
運営するのもひと苦労だった

——新たにポータブルサウンドシステムを導入した理由を教えてください。

講座やイベントなどで、もともと円滑に地域コミュニケーションを図るためです。

当協議会が運営する『アクロスあらかわ』では、おもに障害のある方の自主活動の場として、また障害のある方・ない方の枠を超えたコミュニケーションの場として、講座やイベントなどが随時開催されています。会議室に音響設備はありますが、たとえば交流ロビーなどには音響設備もマイクもない。以前はボランティアセンターからポータブルサウンドシステムを借りていたんですが、大きくて重く、電源をつながなくてはならないなど、けっこう運営が大変でした。そのため、新たに購入を検討して

いたのです。

——購入する際のポイントはなんでしたか。

やはり、コンパクトで軽い点ですね。当会館は女性スタッフが多く、手軽にもち運べることは重視しました。さらに、操作が簡単である点。そうすれば、お客さまがスムーズに利用できるうえに、職員も説明の手間が省けますから。あとは、機能面の多様さ。お客さまにはいろいろな方がいらっしやいます。「スマホに入っている音楽を流したい」など、個別の要望もあります。機能が多様なほど、多くのお客さまに使っていただけるはずですからね。



荒川区社会福祉協議会

地域ネットワーク課  
指定特定相談支援事業所・  
指定障害児相談支援事業所  
荒川区立障害者福祉会館アクロスあらかわ

嘉松 敏樹

かまつ としき

近年、民間企業や自治体において、さまざまなシーンでもち運びが簡単な音響設備・ポータブルサウンドシステムが活用されている。荒川区社会福祉協議会においても、約1年半前に新しくポータブルサウンドシステムを導入した。担当の嘉松氏に、導入した背景や製品選びのポイント、導入後の利用法などを聞いた。



荒川区社会福祉協議会が  
ポータブルサウンドシステムを選んだ

## 3つのポイント

- 1 軽くコンパクトで  
手軽にもち運べる
- 2 専門知識がなくても  
簡単に操作が可能
- 3 お客様の要望に応えられる  
機能の多様性

— 導入後の反応はいかがですか。  
お客様からは「軽くてマイクもワイヤレスで使いやすく、音質がいいので聞き取りやすい」といった声が聞かれています。また、使い方を説明すると、だいたひみなさん一回で覚えてくれますね。さらにBluetoothやSDカード、USBなど入力手段も多様なため、お客様の使い勝手もいろいろです。

そうした観点を満たしていたのが、Okayo Japanのポータブルサウンドシステムでした。同種の製品と比べると、コストが抑えられるのも決め手でしたね。

**災害による停電時でも活用できると期待**

思います。  
また、機能を活かした新しい利用の仕方もされています。  
— どのような使い方でしょうか。  
小・中学生を対象に、電動車椅子に乗った方を講師に迎えてバリアフリーにかんする勉強会を開催しているのですが、そこで活用しています。たとえば勉強会では、実際に参加者に車椅子体験をしてもらうのですが、館内や館外で実際に乗ってもらうに機器を積んで、もち運びながら講師の方にワイヤレスマイクで説明してもらうのです。以前は肉声だったので、後ろのほうにまで声が届きにくかったのですが、いまではすべての子どもたちに声が届き、しっかり話を聞いてくれるようになりました。  
— これからの活用方針を教えてください。  
『アクロスあらかわ』は荒川区における障害者の福祉避難所に設定されているため、災害による停電の際などに活用できると考えております。また、平常時でも積極的に活用して、円滑なコミュニケーション支援をしていきたいですね。

## 保育園の園外保育など 特徴を活かしたさまざまな使い方が可能

支援企業の  
視点



Okayo Japan  
代表取締役  
森田 記祥  
もりた のりよし

昭和41年、長崎県生まれ。平成7年、有限会社西九州メディアを創業し、代表取締役に就任。平成28年、台湾企業であるOKAYO ELECTRONICS CO.,LTD.のポータブルサウンドシステムの日本における販売を開始。平成31年、Okayo Japan株式会社を設立し、代表取締役に就任する。

問い合わせ先

☎ 03-6261-3338  
(平日 9:00~18:00)

✉ info@okayo-japan.com

販売代理店を募集中(担当:中島)

— ポータブルサウンドシステムを導入するメリットはなんですか。  
設置型と異なってもち運びができるため、場所を選ばずに使用できる点ですね。たとえば当社製品の場合は、ちょっとした会議やイベントのほか、保育園や幼稚園などで園外保育や遠足といった際に利用されているようです。よく聞かれるぶん、子どもも話を聞いてくれるほか、音楽なども流せるので好評ですね。  
— ポータブルサウンドシステムを選ぶポイントを教えてください。  
やはり荒川区社会福祉協議会さまのポイントと同じく、軽くコンパクト、操作が簡単で高機能な製品を選ぶべきでしょう。当社の製品でいえば、A4サイズで重量は約3.5kg。非常にコンパクトながら、最大出力は60W。これは、30㎡の空間でしたら十分に声が届く計算ですね。さらにリチウム電池が内蔵されているため、電源が必要なく、約6時間も持ちます。また最大で有線マイク1本、ワイヤレスマイク4本を同時に使用できるほか、入力も豊富など、さまざまな機能を備えています。一方で操作は簡単で、電源の入れ方とボリューム操作がわかればすぐに利用が可能。同種の製品で、これほどの機能を備えているものはないと自負しています。  
— 自治体に対する今後の支援方針を教えてください。  
ポータブルサウンドシステムは、地域コミュニケーションや災害時にも役立ちます。当社の製品を普及させていくことで、地域に貢献していきたいと考えています。

防災・  
危機管理

観光・商工

健康福祉

総務・人事

情報政策

公共インフラ・  
まちづくり

住民生活・  
安全

環境・  
エネルギー

学校教育・  
生涯学習

税務・収納

広報・広聴

議会

農林水産

産業振興



Okayo Japan株式会社  
<https://okayo-japan.com/>